

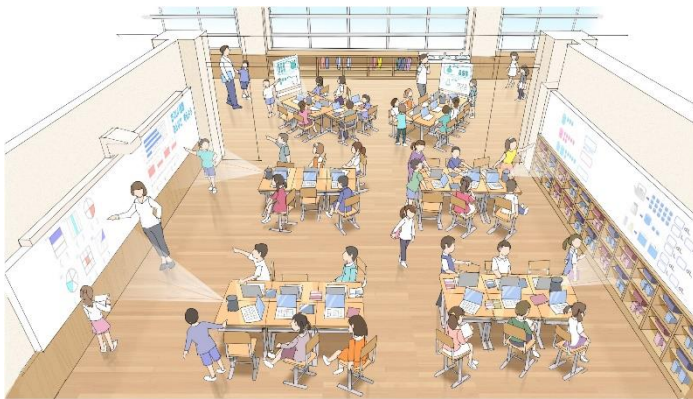
オープンスペースの活用に向けて

新たな学校づくりにおいては、学級単位の多様な学習活動だけではなく、学年単位の活動または生活指導を充実させたり、児童にゆとりある生活環境を整備するうえでは、普通教室と一体的に使用することができる「オープンスペース」の整備することを基本としています。

1 整備概要

本町田ひなた小学校及び成瀬小学校のオープンスペースは多様な学習活動に対応できるよう5mの幅を確保して整備します。オープンスペースと普通教室の間には、会話や音楽の授業等の遮音、空調効果を考慮して可動式間仕切り（引戸型）を設置します。

○普通教室とオープンスペースのイメージ（小学校）



- 普通教室の面積 64 m²からオープンスペースを含めて 110.5 m²へ拡大
- 協働的学習や学年単位の活動をしやすいとする



本町田ひなた小学校（イメージ）



成瀬小学校（イメージ）

2 活用に向けて

オープンスペースの効果的な活用に向けて、本町田ひなた小学校・町田第三小学校及び成瀬小学校では、2026年8月27日(木曜日)に教職員を対象とした校内研修を開催し、東京都市大学山口勝己名誉教授から他自治体の活用事例等についてレクチャーを受けた後、実際の活用に向けた意見交換を教職員同士で行いました。



校内研修の様子